

令和5年度白山高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	法令遵守意識の向上、公務外非行の根絶及び職員行動指針の周知・徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的で開催し、教育公務員としての自覚と倫理意識を持って行動するように、職員の意識の向上を図る。 ○ 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、健康で明るく元気な風通しのよい職場づくりを推進する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員一人ひとりが人権に配慮し、パワハラ、セクハラ、マタハラ等行為の未然防止について当事者意識をもって取り組み、職場のハラスメント行為を根絶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的で開催し、ハラスメントの防止を徹底する。 ○ 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、決して他人事とせず、当事者意識を持って取り組める環境を整え、ハラスメントを根絶する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権に配慮し、わいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、わいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的で開催し、生徒の人権に配慮し、ハラスメント行為の防止を徹底する。 ○ 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、決して他人事とせず、当事者意識を持って取り組める環境を整える。 <p>【達成状況】全職員で自分事として取り組めた。引き続き、職員相互のコミュニケーションを大事にして、未然防止に努める。</p>
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的で開催し、体罰・不適切な指導の防止を徹底する。 ○ 生徒の人権を尊重した適切な指導が行えるように、教員間や部活動インストラクター等との連携と情報交換を密に実施する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止	入学者選抜や成績処理及び進路関係書類の作成に係る点検体制を強化し事故を根絶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学者選抜や成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止会議を開催し、職員の事故防止意識の向上を図る。 ○ 関係業務において、複数体制を整備し、正確な点検を実施する。あわせて、点検マニュアルの整備にも注力する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の漏えい、誤廃棄等の事故ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的に行い、個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する適切な作成及び取り扱いを徹底する。 ○ 個人情報の持ち出し・返却や廃棄の際の手続きの徹底を図る。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒・教職員ともに交通事故ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止会議を定期的に行い、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守を徹底する。 ○ 交通法規の遵守と交通事故防止について、各種会議や打合せ等の機会を活用して、啓発資料を配付するなどして、意識啓発に努める。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	新しい教育委員会ネットワークシステムを活用し、情報の共有化と校務の効率化を推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故会議を定期的に行い、業務執行体制の確保等を徹底する。 ○ 業務遂行にあたっては、グループや学年内で情報の共有を図り、構成メンバーが相互に点検・確認をするなど、業務が一人に偏ることのないように協力しあう体制を整え、業務を遂行する。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>
財務事務等の適正執行	公費、私費の適正な運用を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事防止会議を定期的に行い、公費、私費会計に関する適正な処理を徹底する。 ○ 公費、私費会計担当者は、それぞれ、公費、私費会計基準に基づき、会計業務を行うとともに、グループや学年内の構成メンバーにより複数の目で点検・確認を実施し、事故防止に努める。 <p>【達成状況】全職員で取り組み、良好である。</p>

○令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

（校長意見）

日ごろから国や県の動向を全職員へ周知するとともに、事故・不祥事について、職員打合せや各種会議で情報提供と注意喚起を促してきた。また、月に1度以上、教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を活用し、校内の事故防止研修や企画会議、グループ会議で意見交換、情報共有することで、事故・不祥事防止に努めてきた。

引き続き、事故・不祥事の根絶を目指し、全職員によるチームとしての取組を徹底する。一つの事故は、今まで積み上げてきた堅実で確実な業務遂行による信用・信頼を、一瞬で破壊してしまうことを職員の共通認識とし事故・不祥事防止への意識を高めたい。

校長として、職員の意思統一をはかり、風通しのよい職場づくりに努め、指導・監督の責務を果たし、事故を生じさせないよう強く心に誓うものである。